



◀日々の厳しい練習と一緒に乗り越える仲間存在は大きい。
▼引水の自宅に飾ってある昨年の第93回大会記念タオルと一緒に一枚。今年の大会記念タオルはいつも応援に駆けつけてくれる千葉県に住む兄へ贈った。家族の応援はなにより力になる。

Public relations
OZU TOWN

広報おおづ 2018 2

発行・編集 大津市・総務課
〒869-1292 熊本市若菜地区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
※広報おおづは職員に代わって市民と連絡がとれます。

UD FONT
易やしく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報
おおづ 2
FEBRUARY 2018



広報が読める
スマホアプリ
マチイロ

平成30年大津町成人式

成人としての第一歩



★ SAPPORO
拓大 17-10
2017 HAKONE EKIDEN THE 93rd
「尊敬する先輩たちが卒業してしまう前に勝ちたい」
あかさき 赤崎 さん (引水) さん

「東京箱根間往復大学駅伝競走」、一般的には「箱根駅伝」として知られるこの大会に拓殖大学の選手として2年連続出場している赤崎さんをクローズアップする。

年始に行われる「箱根駅伝」は東京都・神奈川県箱根町の往復を10人で襷をつなぐ、注目度国内最大級の大学生駅伝徒競走である。その第94回大会の3区を見事走破した赤崎さんの姿が町の成人式会場にあった。

中学時代を知る友人からは、「真面目」という印象。本人は自らの性格を「負けず嫌い」とした上で、「尊敬する先輩たちが卒業してしまう前に勝ちたい」と思いながら練習を続けています。互いがライバル関係であり、仲間でもある陸上競技部55人との朝夕の練習はいつも刺激的で熱中できる。

肉体、精神を極限まで鍛え、10kmを約30分で走る駅伝の世界。

駅伝の魅力は簡単には言葉にできないという「強いて言うなら、常に上の目標があることですね。今年だったらチームが目標順位内に入る目標があった部内で共有していました。目標達成できてうれしかったです。来年は更に上を目指したいです」と笑顔で話す。

もともと小学生からバレーボールを続けていたが、中学1年生の時に参加した「スポーツの森・大津ジョギングフェスティバル」で陸上部の監督に声をかけられ陸上部と掛け持ちするようになった。そして、中学3年生を迎えたある日、突然できた「箱根駅伝を走りたい」という夢はその後の進路の道しるべになった。

趣味は温泉めぐり。「一度入るとどっついても長いのので友だちを誘えません」と苦笑い。練習の疲れを癒すのは「炭酸泉がいい」とのこと。

「まだ学生で、支援や応援してくれている家族に感謝しています」とはにかみながらボツリ。

将来の目標などはまだ決めていないが、まずは来年の「箱根駅伝」を走ること。走り続けるその先に無限の可能性が広がっている。

ついでの声

▼成人を迎えた皆さんおめでとうございませう。

成人式を取材中、成人に対していくつかの視点から、話を伺い感じたいことは「生きてるってことは可能性が無限なんだ」ということでした。▼成人の皆さんの可能性はもちろん、生きることに対して肯定するメッセージももらえたように感じました。皆さんにも伝わってほしいので

▼新成人の皆さんが元気なことは町の未来が明るいにつながります。たくさん笑顔を見て、私も全力で頑張りたいと思いました(MDEC)

からいもくん便り
大津町総合情報メール
携帯やパソコンのメール機能を使って、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。